



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ  
(コード番号 8316)

## 平成 27 年 3 月期 配当予想の修正について

当社は、足許の業績動向等を踏まえ、本日開催の取締役会において、平成 26 年 11 月 13 日に公表した、平成 27 年 3 月期の普通株式 1 株当たり年間（期末）配当予想を次のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

基 準 日	1 株当たり配当金（円）		
	第 2 四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想 <small>（平成26年11月13日公表）</small> (A)	60	70	130
今 回 修 正 予 想 (B)	60	80	140
増 減 額 (B-A)	—	+ 10	+ 10
（ご参考）前期実績（平成26年3月期）	55	65	120

（参考）平成27年3月期 連結業績

（金額単位 億円）

	予 想 (A) <small>（平成26年11月13日公表）</small>	実 績 (B)	増 減 額 (B-A)
経 常 利 益	12,000	13,212	1,212
当 期 純 利 益	7,000	7,536	536

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

広報部 T E L : 03-4333-3730

本資料には、当社の財政状態及び経営成績に関する当社及び当社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合弁事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社は、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社が公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。